



# 生き方を考える キャリアウィーク

向陽中では、11月の第1週を「キャリアウィーク」と位置付けて、体験を通して職業や生き方について学びます。1年生は「話を聞く・知る」職業ゼミナール、2年生は「訪問する・取材する」企業訪問、3年生は「体験する」職場体験で、全学年で系統的に取り組んでいます。

## 1年生 職業ゼミナール



1年生では、まず身近な家族から学ぶことからキャリア学習を始めます。家族に取材して、仕事の内容を聞いたり、職業の価値について話し合ったりします。そして、1日(木)5名の保護者を講師としてお招きして職業ゼミナールを開催しました。ここでは、建築設計士、通関士、看護師、言語聴覚士、薬剤師それぞれの仕事のやりがいや苦勞、仕事に対する考え方を学びました。当日は、講師先生への接待・案内や、司会進行、質疑応答など、生徒の手でゼミを運営し、活発な意見交換ができました。「人・社会に対しての責任」「日本と外国をつなぐ役割」「常に新しい情報や技術を学ぶ大切さ」など、講師先生の数々の言葉と出会えたことは、将来の

生き方を考えるヒントになったことでしょう。

2年生は10月31日(水)、和歌山をベースに展開している企業10社の協力を得て、企業訪問を実施しました。なかには、ネクタイを貸していただき、社長さんと名刺交換をさせていただいた企業も。この訪問で「人のために考え、人のために尽くす」「知識と知恵と体力を身につける」「全員がルールを守るから事故は

## 2年生 企業訪問



ない」などたくさんの教えを頂きました。各企業の仕事に懸ける熱い思い、そして、地元和歌山の企業の底力を肌で感じることができ、組織の中で人間として成長していくやりがいについて学ぶことができました。学んだことは後日ポスターセッションで交流しました。



## 3年生 職場体験



3年生は、44の事業所の協力を得て、10月30日(火)から4日間、職場体験を実施しました。学校を離れ、知り合いがいない慣れない場での体験は、体力的・精神的にも相当大変だったと思います。その中で、事業所の方々やお客さんとのふれあいを通して「コミュニケーションが信頼につながる」「必要とされる喜び」「誰かのために働き、誰かを支え、助けてもらいながら働きたい」「学校の生徒会や委員会・係なども、係長や課長と同じ役割」「働くとは自分を表現できること」など、大切なことに気付くことがで

きたようです。日常から飛び出しての4日間の体験。教室では学べない「何か」をそれぞれが見つけられたことでしょう。

